

事項一一 雲南省及中国南部ニ於ケル仏国ノ特殊利益ニ関スル交渉一件

七二三 三月二日 在本邦仏国大使館ヨリ
日本外務省宛

雲南省及中国南部ニ於ケル仏国ノ特殊利益ニ 関シ申出ノ件

附記一 大正五年十一月二十八日附在本邦仏国大使館ヨ

リ日本外務省宛覚書

日本資本案ノ雲南進出ニ遺憾ノ意表明ノ件

二 日本資本案ノ雲南進出問題ニ関スル仏国ノ申出
ニ対シ回答ノ件

三 雲南及広西両省ノ鉱山開発ト日本資本案トノ関
係ニ関スル調査

四 中国關係仏国事項綱要調査

(訳文)

仏国政府ハ山東省及赤道以北太平洋諸島ニ於ケル日本ノ要求ヲ支持スル旨声明スルノ機ニ際シ仏国カ雲南及支那南部諸省ニ於テ保有スル特殊利益ニ鑑ミ仏国ノ為均シク緊要ナル前記諸省ノ問題ニ関シ日本政府ニ於テ右ト同様ノ意嚮ヲ

ナル了解ノ相互の表彰ニ対シ両国政府ノ承認スル重大ナル価値ヲ表示スルモノナルヘシ

千九百十七年三月二日

東京ニ於テ

仏国大使館

註 右覚書ハ大正六年三月二日在本邦仏国大使持参セリ

(附記一)

大正五年十一月二十八日附在本邦仏国大使館ヨリ日本外務省宛
覚書

日本資本案ノ雲南進出ニ遺憾ノ意表明ノ件

(訳文)

在雲南仏国領事ハ日本国資本団ニ於テ鉱石ヲ抵当トシ簡旧錫務公司ニ対シ二百万弗ノ借款ヲ為サントスルノ計画アル旨仏国政府ニ報告シタリ

仏国政府ハ日本国政府ニ対シ右計画ヲ知照スルト共ニ仏国カ特殊利益ヲ有スル印度支那隣省ノ商工業ニ日本国資本団ガ立入ルコトハ仏国政府ノ遺憾トスル所ナル旨ヲ表示セザルヘカラス惟フニ日仏諸協約ハ此等商議ニ対シ正式ニ反対スルモノニ非ズト雖モ仏国カ日本国カ特殊利益ヲ有スル諸省ニ於テ何等ノ手出ヲモ為ササルニ願ミ礼讓の相通主義ニ

示サルルヲ得バ仏国政府ノ欣幸トスル所ナリ

仏国政府ハ滿洲ニ於ケル日本ノ地位ト前記諸省ニ於ケル仏国ノ地位トヲ同視セムト欲スルモノニ非ズト雖仏国カ滿蒙問題ニ関シ対償ヲ要求スルコトナクシテ表明シタル好意ヲ玆ニ援用シ得ヘシト信ス

日本政府ニ於テ日仏兩國ガ各々支那南部諸省及福建省ニ於テ有スル相互ノ地位ヲ同一ノ見地ノ下ニ看察セラルルニ於テハ仏国政府ノ欣幸トスル所ナリ

仍テ兩國政府ハ千九百十七年協約ノ辭句及精神ヲ参酌シ仏国ノ活動範圍ニ属スル雲南省並ニ日本ノ活動範圍ニ属スル福建省ヲ主眼トシテ政事的見地並經濟的見地ニ於テモ相互ノ関渉ノ保障ヲ与フル為協定ヲ為サムト仏国政府ノ希望スル所ナリ

右協定ハ兩國間ニ存在スル従来の友好關係ヲ鞏固ニスヘク又現戦争ノ為兩國ノ結合ヲ一層緊密ナラシメタル現下ノ事態ニ於テ特ニ良好ナル効果ヲ齎ラスヘク將又右兩國ノ良好

抛リ日本国ニ於テモ其ノ国民ヲシテ雲南地方ニ於テ同様ノ態度ヲ遵守セシムルノ意図ヲ有セラルヘキハ仏国政府ノ疑ハザル所ナリ

千九百十六年十一月二十八日 東京ニ於テ

(附記二)

日本資本案ノ雲南進出問題ニ関スル仏国ノ申出ニ対シ回答ノ件
十一月二十八日付仏国政府覚書ハ其前段ニ於テ日本資本案ノ雲南ニ於ケル投資事実ヲ述ヘ其後段ニ於テハ右ニ関シ日仏協約ヲ引用シテ仏国政府ノ希望ヲ開陳シ居ル処此際日仏協約ノ解釈ニ亘ルカ如キ機微ノ点ニ触ルルハ得策ニアラサルヲ以テ仏国大使ニ対シテハ単ニ前段ニ関シテノミ口頭ニテ回答ヲ与ヘラレ後段ニ関シテハ何等言及セラレザルコト可然ト認ム

仏国政府覚書ニ対スル口頭回答案

帝國政府ニ於テハ十一月二十八日附仏国政府覚書所載ノ事実ニ付篤ト調査ヲ遂ケタル処日本国資本家カ鉱石ヲ抵当トシテ雲南省簡旧錫務公司ニ対シ二百万弗ノ借款契約ヲ締結セントシツツアルノ事実ナキコトヲ確メタリ尤モ右ニ関シ帝國政府ニ於テ内密ニ入手セル報道ニヨレハ簡旧錫務公司

ヨリ一百万元ノ借款ヲ大倉組ニ申出テ抵当トシテ同鉱山ヲ又報酬トシテ同鉱山産出ノ錫ノ一手販売権ヲ提供シ来リタルコトアリ又今夏久原鉱業株式会社ヨリハ技師ヲ同鉱山ニ派シ調査ヲ為サシメタルコトアル趣ナルモ何レモ未タ何等具体的ノ商議ヲナスニ至ラズトノコトナリ

然ルニ仏国大使ニ於テ後段ノ点ニモ言及スルコト無キヲ保セザルニ付左ノ諸点ヲ考量ニ加ヘ置クコト必要ナルヘシ

(一) 日仏協約ハ兩締約国カ主權保護權又ハ占有權ヲ有スル領域ニ近邇セル支那ノ諸地方ニ於ケル平和及安寧ヲ確保スル為相互ノ支持ヲ約セルニ止マリ商工業 (les affaires industrielles et Commerciales) ニ関スル兩國資本家ノ活動等ニハ何等關係ナシ現ニ日仏協約締結ノ際仏国側ハ該協約ハ其性質政治的ナルコトヲ明言シ居リタルノ事實モアリ故ニ我ニ於テモ十分日仏協約ノ精神ヲ重ンスヘキハ勿論仏国ニ対スル礼讓ハ尊重スヘキモ之カ為ニ雲南地方ニ於ケル商工業ニ関スル日本資本家ノ活動マテモ差控ヘシメントスル仏国政府ノ希望ハ無理ナリト思考ス

(二) 仏国ハ支那ヲシテ雲南、広東、広西三省ノ不割譲ヲ約セシメ又前記三省内鉱山ニ関スル優先權ヲ有スルノミニ

シテ未タ我滿蒙ノ如ク國際的ニ特殊地位ヲ認メラレ居ラザルヲ以テ先ツ日本ヲシテ此機會ニ雲南地方ニ於ケル同國ノ地位ヲ認メシメントスル底意アルヤモ図ラレズ

(三) 覺書前段ニハ仏國カ特殊利益ヲ有スル印度支那隣省 (une province limitrophe de l'Indochine où la France a des intérêts spéciaux) ト單数ニテ記載シ後段ニハ漠然雲南地方 (la région du yunnan) ト云ヒテ共ニ彼ノ不割譲條約ニ包括セラレ居ル広東及広西ノ兩省ニハ何等言及シ居ラザル点注意ヲ要ス

(四) 覺書中ハ「日本カ特殊利益ヲ有スル諸省」(les Provinces où le Japon possède des intérêts particuliers) トアル処右ニシテ若シ帝國カ不割譲ヲ約セシメ居ル福建省等ヲ指スモノトセバ兎モ角若シ滿蒙ヲモ含ミ居ルモノトセバ妄モ甚シ蓋シ不割譲地域タル雲南広東広西若ハ福建ト兩度ノ戰爭竝幾多ノ條約關係及施設等ノ為ニ帝國カ特殊ノ地位ヲ有スル滿蒙トハ固ヨリ同日ニ論ズベカラザレバナリ

(五) 惟フニ日仏條約締結ノ當時ニ於テハ我政府ハ他日日本人ノ雲南方面ニ於テ活動スルコトアルヘキニ思ヒ及バザ

リシ結果同方面ノコトハ他國殊ニ仏國ノ自由ニ委シタルヤノ觀アルモ時勢ノ變転シタル今日トナリテハ機ニ臨ミテ同協約ノ欠缺ヲ補正スルノ途ニ出ヅルコト当然ナルヘシ殊ニ日仏協約ノ嚴格ニ解釈スルニ於テハ單リ雲南ニ於テノミナラズ広東竝広西ニ於テモ日本ノ活動ヲ妨ケラルルコトトナルヤモ測ラレサル処現ニ広東省ニ於テハ日本側ノ関与セントスル事實モ尠カラザル有様ナルヲ以テ日仏協約ノ運用及解釈ニハ最注意スルヲ要スヘシ

(附記) 仏國ハ支那ヲシテ海南島ノ不割譲ヲ約セシメ居ルニ拘ラズ米國資本家カ海南島瓊州及樂會間ノ鐵道建造ヲ請負タルニ対シ抗議提出其他何等ノ措置ニ出デタル模様無キハ注意スベシ

註 右対仏回答案ハ本野大臣ノ注文ニ依リ Pro memoria トセラレ大正五年十二月十六日本野大臣仏國大使ニ會見ノ際右 Pro memoria ヲ同大使ニ手交セリ

(附記三)

雲南及広西兩省ノ鉱山開發ト日本資本家トノ關係ニ関スル調書 (大正五年十一月)

(一記註外欄)

(一) 雲南省臨安府箇旧錫鉱山

箇旧県錫務官商有限公司ハ一百万元ノ借款ヲ大倉組ニ申

(二記註外欄)

(一) 雲南省昭通ト四川省寧遠間ニ於ケル金鉱、銅鉱、ノ採掘
雲南屯懇局吏員ハ商人ト合同シ前記一帯ノ地方ニ開墾及鉱山事業ヲ起スコトナリ将来大規模ノ投資ヲ為ス余地多カルヘキ趣ヲ以テ同局會弁黃篤謐ヨリ大倉組ニ調査ノ為メ技師派遣ヲ依頼シ事業有望ト決セハ日支合弁經營成立ノ為黃ニ於テ奔走スヘキヲ保障セリ大倉ハ前記箇旧鉱山ヘ技師派遣ノ際本鉱山ヲモ調査セシムルコトトナルヘシ (尤モ鉱区ノ大部分ハ四川省ニ属スル由)

(三記註外欄)

(二) 広西省富川県賀県ノ錫一手販売權
広西省軍事費善後費用等トシテ百六十万円借款シタキ旨陸榮廷側ヨリ三菱ニ申込ミ同省厘金稅等ヲ担保トシ且ツ富川、賀県ノ錫及錫砂ノ一手販売權ヲ与フヘキコトヲ申

出タリ三菱ハ台湾銀行ヲ資本主トスルコトシ同銀行ハ富賀錫煤公司トノ間ニ金額百二十万円ノ錫ノ売上代金ヲ以テ返済スルコト、返済不能ノ場合ニハ保証人タルヘキ広東広西兩督軍ニ於テ兩省内ノ釐金稅ヲ以テ弁済スルコト等ノ条件ニテ借款契約ヲナスコトニ決定シ交渉シタルモ最近右借款談ハ見合ハスコトナリタル旨台湾銀行支店ヨリ電達アリタル由、

(四) 雲南省巧家県地方銅、亜鉛鉱山

久原鉱業株式会社ニ於テハ今夏技師ヲ雲南省ニ派シ巧家県地方ノ落雪、湯丹、茂麓、因民ノ四銅山及砒山^(マ、)亜鉛鉱山ヲ調査セシメ又^(一)ニ掲ケタル箇旧ノ錫鉱山ヲモ調査セシメタルコトアリ、

(欄外註記)

- 一 「箇旧ハ雲南省ノ南部仏領印度支那ニ近キ処ニ在リ」
- 二 「昭通ハ雲南省ノ東北四川省ニ近キ処ニ在リ」
- 三 「富川県ハ広西省東部湖南及広東西省ニ近ク賀県ハ同ジク広西省ノ東部ナルモ富川ヨリハ南ニシテ広東省ニ近キ処ニ在リ」

- 四 「巧家県ハ雲南省ノ東北ニシテ前出昭通ノ南ニ在リ」

(附記四)

中国關係仏国事項綱要調査

道附近鉱山採掘權ヲ担保トスル二百五十一万兩ノ印度支那阿片局ノ借款アリトノコトナルモ真偽不明ナリ

三、海南島不割讓

千八百九十七年三月十五日支那政府ハ仏国公使ニ対シ公文ヲ以テ海南島ヲ他国ニ割讓セザルヘキ旨ヲ約セリ

四、広州灣租借

仏国ハ千八百九十八年四月九日及十日ノ仏支間往復公文ニヨリ九十九年間広州灣ノ租借權ヲ得タリ

五、雲南広東広西不割讓

千八百九十八年四月十日仏支間往復文書ヲ以テ支那政府ハ東京(印度支那)ニ隣接セル各省(雲南広東広西)ヲ他国ニ割讓シ若ハ貸与セサルヘキ旨ヲ約セリ

六、日仏協約

千九百七年六月十日ノ本協約ニヨリ日仏兩國政府ハ兩國ノ亜細亞大陸ニ於ケル相互ノ地位並領土權ヲ保持セムカ為兩國カ主權保護權又ハ占有權ヲ有スル領域ニ近邇セル支那ノ諸地方ニ於ケル平和及安寧ヲ確保スル目的ニ対シ互ニ相支持スヘキコトヲ約セリ(本邦領域ニ近邇セル支那地方中ニハ秘密協約ヲ以テ福建省ヲモ包含セシムルコ

一、雲南広東広西三省ニ於ケル鉱山採掘ニ関スル特權
千八百九十五年六月二十日ノ仏支通商追加条約ニ於テ支那政府ハ雲南広東広西三省ニ於テ支那カ鉱山ヲ採掘スルニ当リテハ仏国ノ実業家又ハ技師ニ商議スヘキコトヲ約シ次テ千八百九十七年六月十二日仏支間ノ交換公文ヲ以テ支那政府ハ前記三省ニ於テ採掘スヘキ鉱山ノ為仏国技師及実業家ノ幫助ヲ請フヘキ旨ヲ約セリ(右ノ約定ハ政府ト關係ナキ支那人民ガ鉱山採掘ヲナス場合ニハ適用ナキモノト解スヘキモノナルヘク尚右ハ支那政府ニ於テ第三国人ニ鉱山採掘權ヲ付与スルニ当リ何等拘束ヲ加フルモノニアラスト解シ得ルノ余地アルヘシ)

二、雲南省ニ於ケル鉱山採掘權

雲南總督ハ嘗テ英仏「シンヂケート」トノ間ニ雲南全省鉱山採掘獨占權附与ニ関スル契約ヲ結ヒタルモ北京政府ノ許可ヲ得ス結局右獨占權ニ代ユルニ同省内七箇所ノ採掘權ヲ以テセリ然ルニ其後利權回收運動ノ結果千九百十一年八月申百五十万兩ヲ以テ同採掘權ヲ支那側ニ回收セリ尤右買収權金ハ支払停滯シ居タル模様ニテ其後全部ノ支払アリタルヤ否ヤ審ナラス又雲南阿片買収權及雲南鉄

トトセリ、

七、堀領事雲南出張ニ対スル仏国政府ノ態度

雲南省獨立ニ付堀領事ノ同地出張ヲ見ルヤ本年三月十七日 De Margerie 氏ハ田付参事官ニ対シ印度支那トノ密接ノ關係ヲ有スル雲南地方ニ於テ平和ノ維持サルルト否トハ仏国ニ於テ最モ痛切ニ利害ヲ感スルモノナル旨ヲ述ヘ次テ仏国政府ヨリ松井大使ニ対シ日仏協約ヲ引証シ且日仏兩國ノ有形無形ノ勢力ニ顧ミ雲南ノ安寧維持及其爭乱カ東京ニ反響ヲ及ボサザル様措置方ニ付日仏兩國領事ノ間ニ會議ヲナシ度希望ヲ表白シ来リタルヲ以テ仏国政府ニ安心ヲ与ヘル為帝國政府ニ於テ主義上之ニ同意シタリ、

八、仏領印度支那ト日仏通商航海条約

日仏通商航海条約ハ未タ仏領印度支那ニ適用セラレス只将来其適用ヲ見ルニ至ル迄ハ千九百七年六月七日ノ宣言ニヨリ同地方ニ於ケル日本国官民ノ身体財産ノ保護ニ付最惠国待遇ヲ受クルニ止マル、

九、鉄道關係

一、竜州鉄道敷設並營業請負

(広西省竜州―印度支那諒山間)

一八九六年ヨリ一九三二年迄

一、雲南鐵道敷設並營業

(雲南―印度支那老開間)

〔一九〇三年ヨリ一九八三年迄
本鐵道ハ仏国会社ノ所有ニ屬シ一八九八年仏国
ニ於テ其敷設權ヲ得タルモノナリ〕

一、正太鐵道敷設借款並經營代弁

(直隸省正定―山西省太原間)

〔一九〇二年ヨリ一九三二年迄
四千万法〕

一、京漢鐵道借款償却借款

(直隸省北京―湖北省漢口間)

〔一九〇八年ヨリ一九三八年迄、
五百万磅中仏国ノ分二百五十万磅〕

一、湖広鐵道敷設借款

(湖北省武昌―湖南省宜昌間)

(湖北省広水―四川省夔州間)

〔一九一一年ヨリ一九五一年迄
六百万磅中仏国ノ分百五十万磅
第二回分四百万磅ハ未發行〕

一、川漢鐵道延長線敷設借款

(四川省夔州―四川省成都間)

〔一九一四年ヨリ一九五一年迄
仏国ニテ工事ヲ請負フ筈
本借款ハ主義上ノ決定ヲ見タルノミ〕

一、欽渝鐵道敷設借款

(広東省欽州―四川省重慶間)

〔一九一四年ヨリ一九六四年迄
三億法(未タ發行セラレザルカ如シ)〕

一、海蘭鐵道敷設借款

(甘肅省蘭州―江蘇省通州又ハ海州間)

〔一九一二年ヨリ一九五二年迄
二億五千万法中一億法發行済〕

一、同成鐵道敷設借款

(山西省大同―四川省成都間)

〔一九一三年ヨリ一九五三年迄
二億五千万法中一億法發行済〕

右海蘭鐵道借款ハ仏国資本家ニ於テ三割五分ヲ引受ケ
タリト云フ又同成鐵道ハ借款ハ仏国資本家ニ於テ五割
引受方交渉アリタルカ如シ尤モ其成否明ナラザルモ右
兩鐵道ノ背後ニ仏国資本ノ潜ミ居ルハ疑ナカルヘシ、
十、其他ノ借款關係

一、日清戰役償金露仏借款

〔一八九五年ヨリ一九三一年迄
四億法中仏国ノ分二億五千万法〕

一、義和團事件賠償金

〔一九〇一年ヨリ一九四〇年迄
仏国ノ分約一億円〕

一、幣制借款(未發行)

〔一九一一年成立シ他日第二次改革借款成立ト共
ニ同借款ニ併合セララルコトニ決定シ居レリ、
總額一千万磅中仏国ノ分二百五十万磅(前渡總
額四十万磅アリ)〕

一、改革借款

〔一九一三年ヨリ一九六〇年迄
總額二千五百万磅中仏国分五百万磅(總額六千万
磅迄發行ノ計画)〕

一、中法實業銀行借款

〔一九一四年ヨリ一九六四年迄
一億五千万法(半額發行済)〕

十一、雲南四川兩省ニ於ケル英仏特殊關係

千八百九十六年一月十五日ノ宣言ニヨリ英仏兩國政府ハ
四川省及雲南省ニ於テ何レノ一國カ得タル特殊利益ハ兩
國又ハ兩國人民ニ於テ共同享有スヘキ旨ヲ約セリ

十二、北京「シンジケート」ト仏国資本トノ關係

一一 雲南省及中国南部ニ於ケル仏国ノ特殊利益ニ関スル交渉一件 七二四

多年支那ノ鐵道鉅山業ニ対シ或ハ資金ヲ融通シ或ハ自ラ
企業ニ当リ居レル北京「シンジケート」ハ公称資本一百
五十二万磅ノ英國会社ナルモ仏国資本ノ投下額尠カラス
且同会社ノ重役ハ大部分仏国人ニシテ恰モ英仏「シンデ
ケート」ノ觀アリ

七二四 (註)
三月 日 日本外務省ヨリ
在日本邦仏国大使館宛

雲南省及中国南部ニ於ケル仏国ノ特殊利益ニ

関スル申出ニ対シ回答ノ件

附記

雲南省方面ニ於ケル仏国ノ特殊地位ニ関スル仏
國政府ノ提議ニ対スル日本政府ノ態度試案

千九百十七年三月二日付覚書ヲ以テ仏国大使閣下ヨリ千九
百十七年日仏協約ヲ援用シ雲南省問題ニ関スル日本政府ノ
意嚮承知シ度旨申出アリタル件ニ対シテハ日本政府ニ於
テ慎重ナル考量ヲ加ヘタル結果帝國政府ハ一面日仏兩國ノ
友好密接ナル關係ニ顧ミ他面仏国ノ雲南地方ニ対スル特殊
ナル歴史ト雲南省ニ於テ日本國カ何等顯著ナル政治的又ハ
經濟的關係ヲ有シ居ラサル事実トニ鑒ミ大体仏國政府ノ希
望ニ副フヘキコトニ決定セリ從テ日本政府ハ政治上ノ見

地ニ於テ雲南省ニ於ケル仏國ノ地位ヲ尊重スベキハ勿論同省ニ於ケル政治的色彩アル經濟事業例ヘハ鐵道ノ敷設鐵道資金供給ノ借款若ハ鉅山ノ採掘又ハ鉅山担保借款ノ類ノ事業ニ對シ日本商工業家ヲシテ之ニ手ヲ染ムルコト無之様自制セシムル方針ニ出ヅヘシ尤モ普通ノ商工業(單純ナル鉅物買入ヲ含ム)ノ自由ナルヘキハ勿論トス

以上ノ措置ハ雲南州ニ對スル仏國ノ地位ヲ一層鞏固ナラシムル次第ナルニ鑒ミ且日仏兩國現下ノ最親善ナル關係ニ顧ミ仏國政府ニ於テモ亦帝國政府ノ誠意ヲ諒トシ以上ノ如キ日本政府ノ措置ニ關スル對價ノ意義ニ於テ日本國政府年來ノ希望通此際速ニ同省ト隣接セル仏領印度支那ニ對シ日仏通商航海條約ヲ適用スルノ舉ニ出デラレ以テ日仏間多年ノ懸案ヲ解決センコトヲ希望ス

前頭ノ通り雲南省及仏領印度支那ニ對スル日仏兩國希望實現ノ措置ヲ講シ相互ニ友好的精神ヲ表彰スルハ兩國間ノ良好ナル關係ヲ一層鞏固ニシ且將來益々之ヲ緊密ナラシムル所以ナルヘキハ日本國政府ノ仏國政府ト全然感ヲ同ウスル所ナリ

註 日附不明ナリ大体三月十日前後ト推定セラル

(附記)

雲南省方面ニ於ケル仏國ノ特殊地位ニ關スル仏國政府ノ提議ニ對スル日本政府ノ態度試案

今般仏國政府ヨリ日仏兩國政府間ニ雲南省及福建省ヲ主眼トスル政治的並經濟的見地ニ於ケル相互不關涉ヲ保障スヘキ協定ヲ為サムコトヲ申出デタルニ對シテハ帝國政府ニ於テハ大体左ノ方針ヲ以テ之ヲ處理シ可然ト認ム

第一、仏國側ノ申出ニ對シ或程度迄其ノ希望ヲ認ムルコトトシ其地域ハ雲南省ヲ以テ限リトスヘシ蓋シ仏國政府覽書ノ要点ニハ雲南省ノミヲ指摘シアル処右覽書ノ前段ニハ雲南省以外南部諸省ニ就テモ帝國政府ニ求ムル処アルカ如シサレハ仏國政府ニ於テハ雲南省ノ外不割讓約定アル他省ニ就テモ同様ノ地位ノ承認ヲ併セ求ムルカ如キコトナキヲ保セスト雖此ノ場合ニハ左ノ理由ヲ挙ケテ之ヲ斥クルコトヲ得ヘシ、

(i) 廣東廣西兩省ハ仏國ニ於テ不割讓約定及鉅山採掘ニ關聯スル優先權ヲ有スル点ニ於テハ雲南省ト同一ナルモ右兩省ト雲南省トカ仏領印度支那ニ對スル日仏協約ニ所謂接壤地タル關係並右兩省ト雲南省トニ於ケル仏國

ノ有スル實際上ノ利害關係甚シク差異アルコト

(ii) 福建省一省ニ對シ雲南省ノ外廣東廣西兩省迄モ其ノ地位ノ承認ヲ求ムルハ範圍ニ於テ至大ノ懸隔ヲ生シ甚タシク均等ヲ失スル過當ノ要求ナルコト、

(iii) 廣東省ニ對シテハ從來我方ヨリ投資セル額少カラス今後モ諸國民同様此ノ地方ニ對スル本邦企業家ノ当然且自然ノ活動ハ益其ノ歩ヲ進メムトスル趨勢ニアリ此ノ趨勢ヲ抑止スルカ如キ協定ヲ取結フハ帝國政府ニトリ到底不可能ナルコト、

(iv) 兩三年前英國ハ江西省ヨリ廣東ニ至ル鐵道及廣東潮州鐵道ニ關スル權利ヲ得タルカ最近亦米國資本家ハ廣西廣東兩省ヲ通過スル洙欽鐵道及同ク不割讓約定アル海南島ノ瓊州樂會間借款鐵道建造ヲ請負ヒタルニ對シ仏國側ニテ抗議其他何等ノ措置ニ出テタル事實ヲ聞カス然ルニ日本獨リ此ノ方面ニ於ケル企業家ノ活動ヲ抑止スルハ到底困難ナルコト、

第二、斯クシテ雲南省ノ關スル限リ政治上ノ問題ノミナラス經濟上ノ問題ニ付テモ仏國側ノ希望スル或程度ノ不關涉主義ヲ認ムルトスルモ其範圍ハ政治的色彩アル經濟事

(一記註外欄)

第四、右ノ如クニシテ雲南省ニ關スル仏國側ノ希望ヲ認ムルトキハ仏國側ヲシテ福建省ニ對スル我地位ニ對シ同様ノ明確ナル承認ヲ為サシムルコト勿論ナルカ元來福建省ニ對スル我地位ハ日支交渉ノ際其ノ他ノ條約上並事實上ノ關係ヨリ今日ニテハ已ニ略ボ國際的ニ承認セラレ居ルモノニテ之ヲ雲南省ニ對スル仏國ノ地位カ未タ國際的ニ承認セラレ居ラサルニ比較スルトキハ其ノ間大ナル懸隔アルヲ見ル次第ニテ我方トシテハ雲南省ト交換のニ福建省ノ地位ノ承認ヲ得タルノミニテハ均等ト云ヒ難シ從テ我方ニ於テハ福建省ノ外更ニ他ニ相當ノ對価ヲ求ムルコト蓋シ當然ノ筋合ナリ而シテ右對価トシテハ仏國側ヲシ

テ予テノ懸案タル印度支那ニ日仏通商航海条約ヲ適用スルコトヲ承認セシムルカ如キモ一案ナルヘシ元来仏国カ同地方ニ付我方ニ対シ抱ケル疑懼ノ念ハ我方ニ於テ前記ノ如ク雲南省ニ於ケル仏国ノ地位ヲ承認スル以上当然消滅スヘキ道理ニテ仏国側ニ於テハ最早安シテ右適用問題ヲ我方希望通り解決シ得ヘキ義ト思考セラル、

第五、右様仏国ノ雲南ニ於ケル地位ヲ承認スルニ当リ玆ニ注意ヲ要スル一事アリ揚子江流域問題之ナリ揚子江流域問題ニ関シテハ先年日英兩國間ニ意見ノ交換ヲ見タルコトアリシカ仏国ノ雲南省ニ対スル地位ト英国ノ揚子江流域ニ対スル地位トハ其ノ間大ナル懸隔ナキヲ以テ〔雲南省ニ関シテハ日仏協約、不割譲約定、及欽山採掘ニ関聯スル優先権ニ関スル仏支取極アリ其他仏国会社ニ属スル雲南鉄道アリ仏国ノ資本ヲ以テ敷設スヘキ欽渝鉄道アリ又揚子江流域ニ関シテハ不割譲約定、揚子江流域及長城以北ニ於ケル鉄道ニ関スル英露協約、湖南湖北兩省ニ於ケル鉄道敷設優先権ニ関スル英支約定、及同江流域ヲ以テ鉄道敷設ニ関スル英国ノ利益範圍ト認メタル英独兩國企業者間ノ取極（本取極ハ英独兩國政府ノ承認ヲ經タル

(二記註外欄)

モノナリ)アリ其他英支兩國人ニ於テ共同管理ニ当ル滬寧鐵道アリ英国ノミノ資金ヲ以テ敷設シ又ハ敷設スヘキモノニシテ揚子江流域ヲ起点トスルモノニハ滬杭甬鐵道津浦鐵道(南段、寧湘鐵道沙興鐵道及浦信鐵道アリ)此際我方ニ於テ雲南省ニ於ケル仏国ノ地位ヲ承認スルカ如キ措置(殊ニ協約ナレハ英国ニ内告セサルヲ得サルヘシ)ニ出ツルニ於テハ英国側ヨリモ再ヒ同様揚子江流域ニ対スル地位承認問題ヲ提起シ来タルコトナキヲ保セス(前年ハ經濟的ニ見レハ滿洲同様ナリト主張セリ)然レトモ我方ニ於テハ右英国ノ地位ヲ承認スルコト勿論極メテ不得策ニ付本件ニ関シ英国側ヨリ何等申出アリタルトキハ大体左ノ方法ニヨリ之ヲ斥クヘシ、

(三記註外欄)

(i)今回仏国側主張ノ引懸ハ日仏協約ニアルヲ以テ雲南福建地位承認問題ハ終始此ノ引懸ニ抛ラシメ右ノ如キ引懸ナキ揚子江流域地位問題ハ全然別問題ナルヲ主張スルコト、
(ii)揚子江流域ト雲南省トニ対スル日本ノ利害關係ハ其ノ程度及性質ニ於テ甚タ異ナルモノアルヲ主張スルコト(尚右ニ付テハ別紙ノ如キ揚子江流域ニ於ケル日英兩

国勢力比較表ヲ以テ説明スルコト)

(i)今回ノ日仏協約ハ仏国ニ於テ不割譲約定ヲ有スル支那南部諸省中仏国ニ取リ利害關係深キ雲南一省ニ限ラルルモノニテ揚子江流域ト云フカ如キ漠然且廣大ナル地方ニ関スルモノトハ全然其ノ選ヲ異ニスルモノナルヲ主張スルコト(此ノ点ヨリスルモ問題ヲ雲南省丈ニ限ルコト極メテ必要ナリ)

(ii)若シ又英国カ先年通り南滿洲ト交換的ニ揚子江流域ノ地位ノ承認ヲ求メ来ル場合ニハ往年ノ我主張ヲ繰返スト共ニ今回ノ日仏間ノ約定ハ雲南省等ニ対スル仏国ノ地位ト滿洲ニ於ケル日本ノ地位トカ同一ノモノニアラサルコトノ明確ナル了解ノ下ニ締結セラレタルモノニテ英国ノ申出トハ根底ニ於テ相違アルコトヲ主張スルコト

(注意)

(i)雲南省福建省地位承認ノ約定ニ付テハ協約若クハ条約ノ形式トセス覚書位ノ程度ニ止ムルヲ得策ト認ム
(ii)滿蒙ノ如キ外藩ハ兎モ角本部支那ニ付本件ノ如キ勢力範圍ヲ余リニ明白ニ決スルハ延イテ支那分割ノ端ヲ啓ク

第一歩タラシムル虞モ有レハ此点慎重注意ヲ要ス、
(参考)

(i)南滿洲及東部内蒙古地方ニ於テ日本カ特殊地位ヲ有スルコトハ日支交渉ノ際ニ於ケル日本大使宛米國國務長官書翰("United States frankly recognizes that territorial contiguity creates special relation between Japan and these districts" (XIV))ニモ明記シアルカ如ク夙ニ米國政府ノ諒認シ居レル所ニテ又最近米國國務長官ハ佐藤大使ニ対シ支那ニ於ケル各國ノ優先権若クハ財政監督等(financial control and domination of China)ハ承認スル能ハサル旨ヲ述ヘタルカ右所言中ニモ滿洲ハ此ノ限ニ非トセリ、

(ii)仏国モ亦從來滿蒙地方ニ対スル日本ノ特殊地位ヲ承認シ居レルハ疑ナキ所ニテ今回ノ新協定ニ関スル覚書中ニモ仏國政府ハ南部支那諸省ニ対スル仏國ノ地位ト滿洲ニ於ケル日本ノ地位トヲ同視セムトスルモノニアラス云云ト明言シアリ、

(iii)英国及露國カ滿蒙地方ニ対スル日本ノ特殊地位ヲ承認シ居レルハ特ニ絮説ヲ要セズ(先年英国ハ揚子江流域ニ

於ケル地位ト南滿洲ニ於ケル我地位トノ交換承認ヲ主張スルニ急ナルノ余リ南滿洲ニ於ケル日本ノ政治的特殊關係ト經濟關係トヲ區別シ右經濟關係ニ就テハ正ニ揚子江流域ニ於ケル英国ノ利害關係ト匹敵スヘント云フカ如キ不徹底ノ主張ヲ試ミタルコトアルモ右ハ確信アル議論ニ非ザルヘシ)

(欄外註記)

一 「此際仏国ヲシテ福建省ニ対スル我地位ヲ特ニ明確ニ承認セシムルコトハ格別実益ナク却テ英国ヲシテ同様承認ヲ対償トシテ揚子江流域ニ対スル英国ノ地位承認ヲ我ニ求ムルノ口実ヲ得セシムルノ所以ナリ雲南省ニ於ケル仏国ノ特殊地位ヲ我ニ於テ承認スル対償トシテハ印度支那ニ於ケル日仏条約適用ヲ求ムルコトニ止ムル方得策ナラシ

二 「英国ヨリ仏国同様ノ要求ヲナシ来ル場合ヲ予想シ仏国ヘノ回答中ニ(雲南省ニ於テ何等注目スヘキ我政治的工業的利権ノ扶植シアラザルニ顧ミ帝國政府ハ云々)ト云フ意味ノ事ヲ入レ置キ可然乎」

三 「比較表ハ現時ニ於テハ戦争ノ為一層日本ニ有利ニ変シタルナルベク右ハ一時ノ変態ナリト雖モ為參考別ニ調査シ置クコト可然」

事項一二 中国ニ関スル日米兩國間交渉特ニ石井「ランシング」協定

關係一件

七二五 五月十一日 在中国林公使ヨリ 本野外務大臣宛(電報)

中国ニ関スル日本ノ方針宣明方ニ付ラッセル

及米国公使ヨリ提言ノ件

別 電 同日在中国林公使宛本野外務大臣宛電報第六〇

四号

「ラッセル」作成ノ中国ニ関スル日本ノ方針声

明案

第六〇三号

紐育日米協會会頭「ラッセル」当地来着後数回本使ヲ来訪シ同氏が米国公使ヲ始メ他米国人其他ト談話ヲ交換シ得タル印象ニ依レバ支那人ノ日本ニ対スル憎悪ノ程度ハ意外ニ強烈ニテ同時ニ一般外国人ノ日本ニ対スル非難モ尠ナカラザル次第ナルガ其由来スル所ヲ釈スルニ日本ノ為ス処兎角不鮮明ニシテ其真意ヲ知り難シト云フニアルモノノ如ク兎ニ角日本ニ取り頗ル重要ナル事態ニシテ其痛切ナル考慮ヲ

要スル次第ナルガ同氏ノ見ル所ヲ以テセバ之ガ救済手段ト

シテハ差当リ總理大臣又ハ閣下ニ於テ適當ナル機會ヲ以テ公然タル方法ニ依リ支那ニ関スル日本ノ方針ヲ説明セラルルコト可然而シテ右日本ノ方針トシテハ同氏ノ意ニテハ大別別電第六〇四号ノ如キ趣旨ヲ可トシ本使ニ於テ異存ナキニ於テハ之ヲ帝國政府ニ轉達セムコトヲ請フ旨申出タル処五月十一日米国公使来訪「ラッセル」同様ノ趣意ヲ述ヘタル後日米兩國ハ勿論支那ニ多大ノ關係ヲ有スル英仏兩國政府ニ於テモ日米兩國ト同時ニ夫々其ノ方針ニ関スル宣明ヲナスカ又ハ右等各国ノ間ニ協調ヲ遂ケタル後其ノ旨支那政府ヲシテ公表セシムルモ可ナルヘク要スルニ右等關係各国ヲシテ機會均等自由競争公平ノ主義ニ於テ活動セシムルノ趣旨ニ外ナラス其ノ結果支那政府ノ立場ヲ固メ国政改善ニ資スヘキモノ多大ナリト認メラルルニ就テハ自分ヨリモ本國政府ニ稟議スヘキニ付本使ヨリモ帝國政府ニ上申セムコ